

さまざまな糸を編むコミュニティづくり ～ 区・自治会活動の活性化に向けて ～

自治会加入率は下がる傾向

八街市は39の地域で構成され、それぞれが自治会（区）として地域自治活動（コミュニティ活動）をおこなっています。

全国の自治会数は、2021年4月1日現在で約29万です（2022年2月総務省自治行政局市町村課調べ）。自治会の加入率は年ごとに下がる傾向を示しており、八街市の自治会（区）加入率も同様に下がる傾向です（2023年4月現在39%）。

生活改善を担う社会活動（相互扶助の活動）

高度経済成長の時期には、ごみ集積所の管理、交通安全活動、防犯見回り、清掃緑化活動などの生活改良活動を行政に代わり自治会が直接的に担い、昭和期の地域の生活改善に大きく貢献しました。

平成期には、防災などの地域活力維持のための機能が重視されました。こうした活動は、助け合いを前提とした相互扶助の意味合いが強い『地縁型コミュニティ』活動といえます。

しかしながら、自治会活動の担い手の減少、高齢化が進み、活動が低迷する状況となりました。助け合いを前提とした地縁型コミュニティは、ライフスタイルや価値観の多様化、地域と疎遠な住民増加に伴いその魅力を失ってきています。



地縁型コミュニティと価値型コミュニティ

令和期に入ってから、地縁型コミュニティとは異なり特定の分野に特化した活動を目的とする『価値型コミュニティ』活動（興味関心が合うグループによる活動）が盛んになっています。地域での結びつきが薄くなり、自分の居場所として価値型コミュニティへの帰属意識の高まりが背景にあります。

同じ価値観を共有できる価値型コミュニティには、参加者同士の共感性や居心地の良さがあります。

他方、地縁型コミュニティは『自治活動』であり、地域に合った住みやすい環境づくり活動を行っています。戦前のような行政の従属組織ではなく、地域のセーフティネットの役割も担っています。ただ、活動を維持・継続するには解決しなければいけない幾つかの課題があり、深刻化してきています。

多様なコミュニティをつむぎあわせる

こうした課題解決のためには、生活基盤となるコミュニティを安定させ、多様性を認め合い、さまざまなコミュニティを受け入れるスタンスが大切ではないでしょうか。例えば、さまざまな色の糸が編まれるから特長ある生地ができあがる。地縁型コミュニティ（自治会）と価値型コミュニティ（ボランティア活動、趣味のクラブ活動など）のバランスが取れるまちづくり活動が地域コミュニティの問題解決・活性化に役立つのではないのでしょうか。こうした情報提供も私たちPiTの役割のひとつです。

住みよいまちづくりは「ひとりの想い」ではできません。近隣の方々と自分の想いを話すことから始め、多様な考えを共有・尊重しながら自治会の活動に自らが関わっていくことが、地域活動の活性化に繋がると考えます。お互い様、助け合って住みよい街づくりを始めませんか。いま住んでいるところが、生活の拠点であり故郷です。

「八街のいいね！を語ろう会」を開催しました！

(協働のまちづくりPiT主催)

10月21日(土曜日)

10時-12時 中央公民館
参加者51名

「八街のいいね！を語ろう会」は八街で頑張っている自治会や団体の事例を聞き活動のヒントやアイデアとして役立てていただくこと、情報交換や交流を通して新しいネットワークに繋がることを目的に開催しました。参加者に書いていただいた「八街いいね！の樹」には前向きな意見がたくさんありました。



いいね！で発表された3団体をご紹介します

親子三代ふれあい広場 みどり台自治会

世代の壁をなくして交流

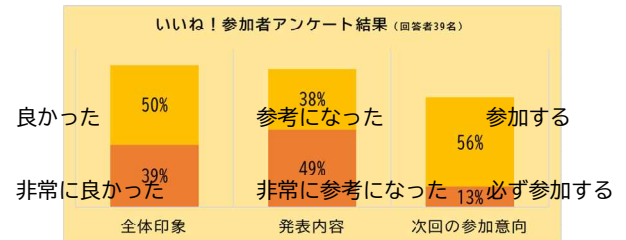
みどり台の世帯数は436、自治会加入率は84%。地域の課題としては、コロナ禍による孤立化、高齢者の増加、若い世代の個人主義、会員離れ、子どもの集団遊び、外遊びの減少などです。

長年やってきた夏祭り(盆踊り)。その準備、実行は高齢者が中心でした。転倒・転落による怪我、熱中症重症化の可能性、また人手不足、コロナの影響などで廃止しました。これに替わるイベントとして今年から「親子三代ふれあい広場」を立ち上げました。自治会住民の交流と活性化のために老若男女、誰でも気軽に楽しみ、季節感や日本文化にふれあえる行事が必要と考えました。

このイベントは一年を通して3回実施されています。5月は、ゲーム大会。内容はスカットボール、輪投げ、ターゲットボール、キッチンカー(参加した子どもにチケット配布)。11月は、なんでも展覧会。会員の作品展示、体験活動、神輿・太鼓の展示、キッチンカー。12月(予定)は、餅付き大会。臼と杵による餅つき、鏡餅づくり、餅の配布などです。

参加者アンケートでは89%の方が「良かった」、69%の方が「次回も参加したい」と回答されました。

PiTでは情報の収集・発信・つなぐを目的に地域コミュニティづくりをすすめていきます。



更に新たなイベントとして「おしゃべりの会」を発足させました。理由は一人暮らしで話し相手が欲しい、介護や不自由な生活のため息抜きをしたいなどの声を聞いたからです。内容は、毎月第2週の月曜日：ルンルン体操。毎月最終月曜日：フリートーク、ゲーム、歌、ルンルン体操などです。参加対象は、みどり台住民。保険料として50円徴収。その他の経費(お茶、菓子、備品、謝礼)は自治会より年間6万円サポートされます。

また、「サッカーができる遊び場」を第2公園につくりました。八街市都市公園条例に抵触しないことを確認。ボールが道路に出ないように自治会で網を張り、子ども達が安全に遊べるよう配慮しました。今では子ども達の楽しい声が響く居場所の一つとなっています。

役員をはじめ、住民の方々の不断の努力、企画力などの支えで自治会が維持、運営されています。



高齢者・障がい者の移送サービスなど 泉台みまもり隊

地域では少子高齢化が進み、それに伴うさまざまな課題を抱えています。課題のすべてを自治会・町内会が担うには負担が大きくなります。

そこで、運転免許証の返納により通院や買い物に困っている高齢者を地域で支援するにはどうしたら良いか？などの悩み事を解決するために「泉台みまもり隊」は2015年に立ち上がりました。

この会は、泉台町内会の外郭団体で住民相互の支え合いを目的とした会員制の有償ボランティア活動ですが、自治会加入の高齢者や障がい者・子育て世帯等を対象としています。

病院や公共機関・銀行・買い物などの「移送サービス」や「ゴミ出し」「剪定・草刈り」などを低額の有料で行っています。電球の交換は無償で行い、その他のサービスは会員相互の連絡調整を行っているコーディネーターに相談して依頼できることになっています。



世帯数 835
自治会加入率 60%



「移送サービス」の車は主に町内会で所有している青パトを利用していますが、利用できない場合は個人の自家用車を使用することもあります。青パトを利用する場合は町内会の保険を使用しますが、個人の車の場合は個人の保険を使用することになります。

運用には、福祉有償運送運転者講習を受けたり、規約や利用方法を工夫するなどして取り組んでいます。

令和4年度は買い物53回、病院送迎199回、病院以外の送迎70回で活動の多くを占めています。利用料金は、サービスによって多少異なりますが30分300円を基本に行っています。

【青パト】
青色回転灯等を装着して地域の
自主防犯パトロールを行う自動車



希望の会（のぞみのかい） 希望ヶ丘

地域、年齢の壁をなくし誰でも参加

八街市中心より西方に位置する、静かな住宅街の希望ヶ丘区です（398世帯、自治会加入率38%）。

初の女性区長を経験豊かな自治会会長と希望の会会長が支えながら和気あいあいと活動をしています。自治会と独立して希望の会（のぞみのかい）があります。希望の会の発足は平成24年10月、現在会員数41名です。活動の目的は、シニアクラブ活動と地域の親睦です。

会のルールと活動内容

- 地域や年齢の壁を無くし誰でも会員になれる
- 自分たちでやりたい事を企画し実行
- 出席を強制せず、好きなものだけ参加出来る
- 行事・イベントは会員以外の方でも参加可能
- 役員を押し付けない

「チーム青空工房」

家庭内の電球、障子、襖、網戸、手すりの交換設置、庭木の剪定（有料サービス）。他の地域や市内介護施設、包括支援センターからも依頼があります。



「青空市場」

家庭菜園で作りすぎた野菜を無人売店（民家の庭先）で1袋50円で販売。売上金で「希望ヶ丘87花サークル」を運営。LINEで繋がり、野菜の出品状況や地域のお知らせ、防災無線内容を伝えています。

「希望ヶ丘87花サークル」

青空市場売上金で種や肥料などを購入し、公園の花壇整備をしています。

「買い物バス」

福祉施設よりワゴン車を借り、毎月8の付く日に近隣店舗への送迎サービスです。

「カラオケサロン楽歌声（らっかせい）」

毎月第4土曜日の午後にコミュニティセンターで開催してます。

「ベンチ設置活動」

ウォーキング休憩所として、玄関先に椅子だし活動。

「健康教室」

健康増進の運動教室開催。区外の方も参加できます。

「古着回収」

年2回実施。福祉施設、社会福祉協議会へ提供。又、クリンセンター経由で東南アジア地域へ送られます。

専用の買い物バスがないため、近隣施設から車を借りて運行していますが、将来は会専用の車を持ちたいと考えてます。加入率が下がる中、豊富なアイデアで幅広い活動をすすめています。活動に参加される方に共通していることは、無理なく、やりたい時に、やりたい人が、やりたいことを、一緒に楽しく活動。活動が長く続けられる秘訣かもしれません。

※各団体の詳細はPITにお問い合わせください

協働のまちづくりセミナー

手話通訳・託児あり ※必ず事前にお申し込みください

講演「子ども食堂、子どもの居場所づくりをすすめよう！～ 松戸市での実践から～」

講師	高橋 亮さん こがねはら子ども食堂代表、まつど子ども食堂の会代表、とうかつ草の根フードバンク事務局長、千葉県子ども食堂連絡会代表、松戸市子どもの学習支援事業(2教室の運営責任者)、NPO法人Matsudo子ども未来with us代表理事
開催日時	令和6年2月4日(日)14時～16時30分(受付13時30分から)
会場	八街市中央公民館 大会議室
対象	子ども支援に関心がある方/自治会関係者/学校関係者/民生委員児童委員/青少年相談員/事業者
セミナー内容	<ul style="list-style-type: none"> 講演 「子ども支援に関わるきっかけ、新しい活動を次々に生み出し取り組んでいる活動内容」 「市内でのネットワークづくり、居場所づくりで出会った子どもたちのこと」をお話します。 八街市内の活動事例発表(2団体) 参加者の交流会

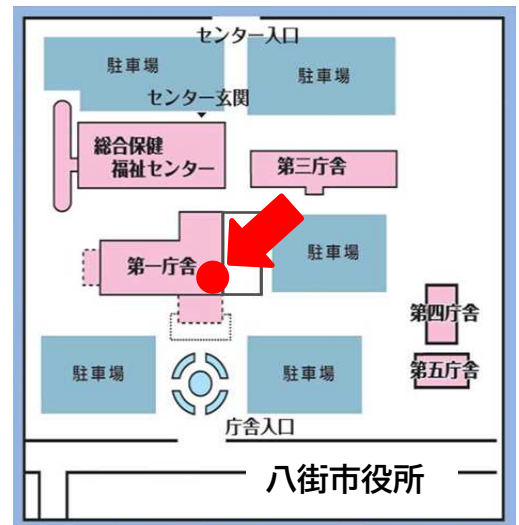
第4回 地域力向上スクール

講師	志村 はるみさん 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金 事務局長 大村 みよ子さん 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金 プログラムオフィサー
開催日時	全3回 第1回:令和6年2月17日(土) / 第2回:3月9日(土) / 第3回:3月23日(土) 14時00分から16時30分(各回)
会場	八街市総合保健福祉センター他
対象	居場所づくりに取り組んでいる方や関心がある方/市民活動に取り組んでいる方/ 地域貢献に興味がある方/地域のつなぎ役としてスキルアップしたい方
スクールの内容	<ul style="list-style-type: none"> だれでも利用でき、交流できる「居場所づくり」を企画してみよう。 セミナーを契機として居場所づくりを具体化して活動の幅を広げよう。 助成金の申請の仕方を学び、申請をやってみよう。 受講生同士で活動内容を共有しよう。
主催	八街市市民協働推進課
参加申込み	協働のまちづくりPiTに電話またはメールでお申し込みください PiTの連絡先(月曜日～金曜日/土日祝日を除く、9時～17時): 043-312-2012
申込み締切り	協働のまちづくりセミナー 令和6年1月26日(金) / 50名(定員/先着受付) 第4回 地域力向上セミナー 令和6年2月9日(金) / 20名(定員/先着受付)



	総数	人数/件数		内訳			
		来訪	電話	一般	団体 法人	行政 関係	その他
8月	28	23	5	15	5	8	0
9月	35	34	1	7	11	14	3

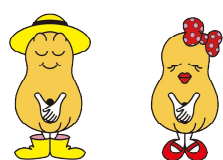
協働のまちづくりPiT(ピット)



開場時間:月曜日～金曜日 9時～17時

〒289-1192 八街市八街ほ35番地29
市民協働推進課 協働のまちづくりPiT(第1庁舎1階)
043-312-2012 kyodo-team@city.yachimata.lg.jp

発行:八街市市民協働推進課 令和5年12月



八街市イメージキャラクター
ピーちゃん ナツちゃん

八街市
市民協働推進課
ホームページ



協働のまちづくり
PiT
メールアドレス

